

## パブリックコメント(県民の意見提出手続)の実施結果

パブリックコメント実施期間:平成18年11月18日から平成18年12月14日まで

意見提出状況:意見提出者 23名 :意見件数 52件

今回修正した意見番号:19.20.41.42.43.44.47

提出者番号	意見提出者				関連箇所		御意見・御提案の内容(全文)
	意見番号	住所	年代	性別	章・節	頁	
1	1	仙台市	20代	女	第2章 第2節 第3章 取組2.4	P9 P38	私は現在大学4年生です。卒論製作の過程で読む機会を得ました。(こういうものに無知でしたので労作に驚きました)中でも私が関心をもったのは、「コンパクトで機能的なまちづくり…」です。そういった魅力的な街が広がっていけば、人やものの交流がなされて、元気な宮城になるのではないのでしょうか。私は来春から就職のために宮城を離れます。望む仕事先が県内で得られなかったためです。友人の多くも同様です。元気な宮城になれば、進学や就職においても県内にとどまることが出来るのではないかと思います。10年後、ふるさと宮城はどうなっているのでしょうか。ここに掲げられたビジョンのいくつかでも、かなえられていれば、と望みます。宮城に住む人ばかりでなく、私のように離れて住む人も、注目していくことと思います。
2	2	仙台市		女	第2章 第2節 第3章 取組1.3	P8 P27	働く女性が、子供を産んでも、社会復帰しやすくしてほしい。派遣社員でも産休や、育児休暇をもらえれば、子供ができたからといって、仕事をやめないですむ。
3	3	仙台市	10代	男	第2章 第1節 第3章 取組1	P5 P14	・自動車産業について 宮城県では、自動車産業を中心に製造業の振興を図ろうとしていますが、今後どんどん高齢化が進み人口が減少していく中で、本当に有望な産業なのでしょうか。車を買う人(だいたいは免許を持っている人)が今後増えていくとは思えないのですが…。
3	4	仙台市	10代	男	第2章 第1節 第3章 取組1	P5 P14	・県内総生産額10兆円について 県内総生産額が10兆円になると、自分たちの生活がどのように良くなるかよく分かりません。
4	5	大崎市	40代	男	第2章 第2節 第3章 取組1.4 ~取組 1.7	P8 P28 ~ 31	現在、宮城県も含め、全国的にいじめの問題がクローズアップされていますが、いじめの問題にせよ、最近特に言われている思いやりや道徳心、公共心の欠如にせよ、学校教育だけで対応するには限界があると思います。 学力向上も大切ですが、その土台となるのは健全な心であり健康な身体です。 親は子どもに対する最高責任者であるという視点に立ち、家庭教育と地域での教育、学校での教育がそれぞれの責任を再確認し、連携していく必要があると思います。まずは「家庭教育」、この点について、将来ビジョンでも強く出してはどうでしょうか。

提出者番号	意見提出者				関連箇所		御意見・御提案の内容(全文)
	意見番号	住所	年代	性別	章・節	頁	
5	6	加美町	40代	女	第2章 第2節 第3章 取組2.2	P8  P36	障害者自立支援法の施行によって、それまで受けていたサービスが大きく削られたとか費用負担が大きくなったなどの新聞記事をよく目にします。 障害者の場合、生まれつき障害を持っている方も多いため、人並みにあたりまえの生活をしていくために多くのお金を必要とすることは賛成できません。県として早く支援策を出して、将来ビジョンに入れてはどうでしょうか。
6	7	仙台市	40代	女	第2章 第2節 第3章 取組1.3 ～取組 1.7	P8  P27～31	私個人としては、子育て環境の充実に力を入れていただきたいと思っています。どこまでが県の仕事で、どこまでが市の仕事なのか分かりませんが、やはり他の県に比べ、充実しているとは言えないと思います。 ・働きながら子育てを行う女性に対するまわり(特に男性)の意識の改革(もっと啓蒙してほしい。実際の社会では県職員のように優遇されていない。)
6	8	仙台市	40代	女	第2章 第2節 第3章 取組1.3 ～取組 1.7	P8  P27～31	・教員の能力向上(先生によりあたりはずれが多い。特に新任教員については、もっとサポートする体制にすべき。)
6	9	仙台市	40代	女	第2章 第2節 第3章 取組1.3 ～取組 1.7	P8  P27～31	・こどもの安全について充実(学外での子供の安全をPTAに頼りすぎ。働きながらできる活動内容ではないし、そのほとんどが女性に押しつけられている。もうすこし地域の力を活用できるようなシステムを作ってください。)
6	10	仙台市	40代	女	第2章 第2節 第3章 取組1.3 ～取組 1.7	P8  P27～31	・夜間・休日の小児医療の整備(こども病院のように専門的な病院も必要ですが、実際には身近な医療が充実していないように思います。)
7	11	仙台市	40代	男	第3章 取組2.1	P35	(1) 高齢化社会を迎え、シルバー人材の地域防犯・学校教育等への活用を推進することにより、高齢者および地域社会の活性化を図っていただきたい。
7	12	仙台市	40代	男	第3章 取組2.8	P43	(2) 環境問題が顕在化してきている中で、3R等を強力に推進し、他の県の模範となる循環型社会を構築し、環境保全の代表県となっていただきたい。
8	13	仙台市	50代	男	全般	全般	「みやぎ将来ビジョン」について意見を述べさせていただきます。少しきつい言い方と思いますがよろしく願います。 ・全体的なことでは、どこが本当に重点なのかがぼやけているような気がします。どこの自治体でも同じような金太郎飴的なことでなく、もう少し力点をはっきり具体的に書く必要があると思います。

提出者番号	意見提出者				関連箇所		御意見・御提案の内容(全文)
	意見番号	住所	年代	性別	章・節	頁	
8	14	仙台市	50代	男	全般	全般	・隣の山形では、県内を4つのブロックに分け、各事務所が権限と予算をかなり自由に使えるようなビジョンとなっており、これが、ある程度成功していると思われます。TVコマーシャルなど、媒体をうまく利用したPRも必要ではないでしょうか。
8	15	仙台市	50代	男	全般	全般	・産業振興の箇所などは、特に一般的なことではなく、環境と漁業/農業との結びつきを、場所も具体的に上げながら、地域(みやぎ)の特徴と今後の方針を明確にしていく必要があると思います。
8	16	仙台市	50代	男	全般	全般	・少子高齢化の悪い点ばかりが世の中で強調されているようですが、これは、逆に考えれば、非常に安定したゆったりした社会構築が出来る点で喜ばしいことと思う発想が必要だと思います。
8	17	仙台市	50代	男	全般	全般	最後に、このようなビジョン作成業務が行われていることが広く知られていないように思います。このことが地方自治や国の政策が知らないうちに決まっていることとなり、不信感に結びつくのでは？と考えます。いいことを一生懸命やりながら伝わらない……こういうところにもう少しお金を使っても良いと思います。
9	18	仙台市	30代	女	第3章 取組13	P27	子供の出生率を上げるために、夜間の小児救急医療体制の充実、郡部での産科医や小児科医の確保、保育所の待機児童の解消など、大変難しいことであるとは思いますが、これらの子育て支援の充実を望みます。 また、子育てが一段落した女性がこれまでの経験を生かして就業できるような環境づくりをお願いします。
10	19	名取市	30代	男	第1章 第1節 第2章 第2節	P3~4 P9	ここだけは盛り込んでほしいという項目なので、宜しくお願いします。 1 第一章(県政運営の理念と基本姿勢)のなかで、経済基盤を確立することはいいのですがそれ以前に「支援を要する県民の生活や人権を宮城県として保障する」ということを明確にうたってほしい。
10	20	名取市	30代	男	第3章 取組22	P36	2 取組22「重い障害があっても、本人の自己決定が尊重されるとともに、障害による不便さが社会全体でカバーされ、それぞれの地域で自立して生活しています。」という案ですが、「どんなに重い障害があっても、本人に自己決定が保障されるために、障害による社会的不利が行政や社会全体でその人権が保障され、自分が住みたい地域で自立して生活しています。」ということに変更し、社会保障を明確にしてほしい。

提出者番号	意見提出者				関連箇所		御意見・御提案の内容(全文)
	意見番号	住所	年代	性別	章・節	頁	
10	21	名取市	30代	男	第3章 取組2.2	P36	3【その実現のために県として行う取組の方向】のなかで、「障害の有無や年齢にとらわれない利用者ニーズに応じた柔軟な福祉サービスや地域での支えあいへの支援」とあるが、「障害の種類や重さにとらわれない利用者の意思にもとづいた十分な福祉サービスの提供と地域での共生社会への支援」と変更して、十分なサービス保障と支えあいから一歩踏み込んだ共生社会への実現を打ち出してほしい。
11	22	仙台市	30代	女	第3章 取組1.8	P32	女性の多い職場で、ほとんどが契約社員です。正社員と全く同じ仕事にもかかわらず、給料や他の待遇面に大きな開きがあります。女性が働くことは良いことだと思いますが、安い給料で働いている女性が多いことも事実です。女性の社会進出を支援する場合は、特に考えていただきたいところです。
11	23	仙台市	30代	女	第2章 第2節 第3章 取組1.4	P8 P28	仕事柄、親子と接することが多いのですが、最近の子供達のがわがままぶりや礼儀のなさには、驚かされ、また、親の対応にも不満があります。親は子供のいいなりになり、振り回されています。学力の向上も必要ですが、もっと基本的なことを身につけさせることが必要だと思います。
12	24	仙台市	30代	女	第3章 取組1.7	P31	はじめまして。私は障がいのある方たちとかわかることを職業としています。意見、というよりは、日頃感じていることについて記させていただきます。 (取組17) 児童生徒や地域のニーズに応じた特色ある教育環境について 障害の有無にかかわらず地域の小・中学校でともに学ぶことのできる学習システム作りなどの特別支援教育の充実とあります。実際に各特殊教育諸学校と普通小中学校において、“交流学习”や“居住地校交流”が行われたり、障がいのある児童生徒が普通学級に在籍したりという取り組みがなされ、有意義な学習となっています。今年の今頃～年明けだったと思いますが、前知事が“すべての障がいのある児童生徒を普通小中学校に在籍させる”という案を打ち出しました。その際、特殊教育諸学校では、教員・保護者に大きな不安や混乱の気持ちが生まれました。理念としては素晴らしいのですが、まだまだ小中学校での“受け皿”が整っていないのに、“実施”できるんだろうかと…。これに関する研修会の場で、前知事は「とにかく、やってみることが大事なんです。たとえ環境が整わなくても。」という意味合いの話がされました。その場にいた、保護者の一人の方が、「その、やってみればいいに振り回されて、つらい思いをしなくちゃいけないのは子どもなのに。」とこぼしたのがすごく心に残っています。大事な“学齢期”の子どもたちです。やってみただけ失敗だった、ではすまされないことですよ。村井知事になってから、この“全員を小中学校へ”は表立って聞かれなくなりましたが、逆にここまで関係する人間を不安にさせた案件について、どうなったのかを知りたいと思いました。知事が替わったことで、全く取り沙汰されなくなったのでしょうか。

提出者番号	意見提出者				関連箇所		御意見・御提案の内容(全文)
	意見番号	住所	年代	性別	章・節	頁	
12	25	仙台市	30代	女	第3章 取組2.2	P36	<p>(取組22) 障害があっても安心して生活できる地域社会の実現について</p> <p>障害の有無や年齢にとらわれない利用者ニーズに応じた柔軟な福祉サービスや地域での支え合いへの支援現在もいろいろなサービスが充実してきています。しかし、障がいの重い方々にとっては、まだまだ狭い選択肢です。特に日常的な医療ケアを必要とするような人が、学校を卒業してその後の行き先を決めようとしたとき、選択肢は本当に限られています。保護者の方たちも、「選んでいいよ」と言われても、選べる場所がなく、そのほとんどの施設が“空き待ち”の状態です。うまく入れても、週に2・3日の利用が精一杯。施設を“かけ持ち”ということになります。本来なら、毎日リズムの整った生活が望ましい重度・重複障がいの人が、施設をあちこち使うことで体調を崩し、在宅へ、という例もあります。また、施設がやっと空いたからという理由で養護学校の高等部を「退学」した方もいる現状です。もう少し、「利用者とその家族」のこと、負担という面だけでなく、本人のQOLをイメージしていただき、より利用しやすい体制・支援作りをしていただきたいと思います。</p> <p>以上、簡単ではありますが記させていただきました。県民の一意見として、お聴きいただければうれしく思います。</p>
13	26	仙台市	30代	男	第1章 第2節	P4	<p>『みやぎの将来ビジョン』に対する意見</p> <p>・今後道州制となった場合、宮城はその中心となるはず(なるべき)ですが、この将来プランではその備えは可能でしょうか？</p>
13	27	仙台市	30代	男	第2章 第1節	P5	<p>・現状の2割増しを数値目標としている項目がありますが、なぜ2割増しなのでしょう？実現は可能なのでしょうか？</p>
13	28	仙台市	30代	男	第2章 第1節	P5	<p>・人口も収入も減少傾向にある今、10兆円の達成よりも現状の維持をどれだけできるか？といった視点も必要なのではないでしょうか？(他県から見れば、宮城県は地震を除いて、食、観光、産業等、今でも十分魅力的だと思います)</p>
14	29	仙台市	20代	男	第2章 第2節 第3章 取組1.4	P8 P28	<p>みやぎの将来ビジョンを拝見いたしました。私は平成12年に仕事の都合で仙台に越してきました。仙台で暮らしてみて感じたのは、街が小さくまとまっていて、緑も多く、郊外には自然もあり、とても住みやすい街だなあという印象でした。これから宮城県がよりよくなることを願ひ、私が日ごろ感じていることを書かせて頂こうと思います。</p> <p>私が宮城県民として望むことは『子供が安心して暮らせる地域づくり』です。最近なにかと騒がれているいじめ問題などもあり、子供を育てていくことが難しい時代なのかなあと不安になってしまいます。学校教育だけに頼らず、地域と連携して子供を見守る社会を作っていくことが非常に重要だと考えています。例えば、今後増加する高齢者の再雇用の一環として、地域や学校等の巡回活動等が考えられます。地域で生活している人々が自分のことを見ていると分かれば悪いことをする子供達や犯罪も減るのではないのでしょうか？また、核家族化が進んでいる世の中で高齢者と接する機会を与えることは子供達の心の成長にも役立つと考えます。とりとめのない話で恐縮ですが、これからの宮城県の発展のため、よりよい街づくりのためになればと思います。</p> <p>以上、よろしくお願ひします。</p>

提出者番号	意見提出者				関連箇所		御意見・御提案の内容(全文)
	意見番号	住所	年代	性別	章・節	頁	
15	30	神奈川県横浜市	40代	男	第3章 取組5	P18	<p>みやぎの将来ビジョン中間案読ませていただきました。特に以下はよく読みました。「競争力ある農林水産業への転換」「地産地消や食育を通じた需要の創出と食の安全安心の確保」「外国人も活躍できる地域づくり」素晴らしいの一言で特に意見はありません。</p> <p>私は、子供の頃は東北と言う言葉の響きから、宮城県は遠い山奥の森のイメージしかありませんでした。ところが、実際に宮城県で見たり、聞いたり、食べたり、飲んだりして学生の頃に教科書でなんとなく記憶にある事とつながり、歴史、文化、自然の深さ、大きさを知り認識を改めました。宮城の歴史、文化、自然を、全国にそして海外に子供でも興味を持つように発信すれば来てみたいと思う人は間違いなく増えると思います。</p>
15	31	神奈川県横浜市	40代	男	第3章 取組8	P21	<p>また、県の発展にはビジネスのグローバル化は避けられないと思います。例えば、仙台は日本で最も外資が進出しやすい都市にしてはどうでしょう。文化の融合と共に、独自の美しい自然、文化も外部の人間の目で再認識され、観光や食などの産業として発展して行くのではないのでしょうか？ 思いつきで書いていますが、私も外者として宮城県の発展のお役に立てればと思っております。</p>
16	32	仙台市	60代	男	序章 4	P2	<p>大変良く立案されていると思いますが計画どおり行かないのが世の常です。鋭意努力され達成度の高からん事を祈念致します。</p>
17	33	大崎市	60代	男	第1章 第1節 第3章 取組6	P3 P19	<p>「富県共創」、聞こえは良いが、60歳過ぎた一農民には雲をつかむようです。県土の方針を示す行政としてはなるほどと納得もしますが、さまざまな分野の目標がありますが、自分の将来としての農家の立場から感想を申しますので現実的な方策を出して欲しいと思います。</p> <p>所得減少に対する生活パターンの切替が進まない面もありますが、日々の生活が大変です。仲間の多くは65歳の年金が待ちきれなく60歳で受給しています。将来75～80歳に成った時どうするか先々に不安を残します。現在60～75歳の元気な人がたくさんいます。この方々をどう活用するかを考えて欲しい。</p> <p>スーパーに行くと県産以外の野菜が色とりどり大量になり、宮城では生産できないのかと思ってしまいます。生産できないのではなく生産できても流通にのせる術を知らない、売る方法を知らないのではないかと思います。</p> <p>米は担い手を中心に低コスト化を図り、野菜・果物は知恵をしぼり特色を出したものを生産する様に(少量、多品種)して、福島を過ぎて宮城に入るとひと味違ったものがいっぱいあるねと言われるようにしたいです。</p> <p>年金+何十万円ではなく年金+何万円から始める運動はどうでしょうか。(新生宮城の一家一品システム) 富県共創=富民共創になるように</p>
18	34	栗原市	70代	男	第1章 第2節	P4	<p>拝読しました。広い分野に亘り政策、施策が網羅されており、取組意欲の強さを感じ取りました。これからの取組に大いに期待します。</p> <p>その中で、市民・住民との役割分担のあり方が少し弱い感じがいたします。これからの「行政」は「小さな政府」を目指してスリム化しなければならず、その将来ビジョンが描かれていません。市民・住民が活動の主体であり、行政はあくまでも「サポート役」であり、シンクタンクの役割が大勢を占めていかなければならない時代であると理解しています。そのシステムへの移行ステップが描かれていません。</p> <p>また、「サポート役」に徹して市民・住民との協働を進めて行くための「政策立案能力」をどのように強化していくものかも必要要件だと思いますが如何でしょうか。</p>

提出者番号	意見提出者				関連箇所		御意見・御提案の内容(全文)
	意見番号	住所	年代	性別	章・節	頁	
18	35	栗原市	70代	男	第1章 第2節	P4	<p>膨大な借金をどうして返していくのかについても触れておりません。全てをオープンにして市民・住民の理解を得ることが急務だと思います。恥も外聞も聞き捨てして思い切って「これしか出来ないのです」と協力を述べるべきと考えます。</p> <p>自分の生存中のことだけを考えずに、50年・100年先を考えて政策、施策を立案すべきと考えます。孫子に「ツケ」を廻さないように、出来ることからしっかりと進めるべきと思います。</p>
19	36	仙台市	40代	男	第3章 取組1 2 取組3 1 取組3 2	P25 P46 P47	<p>「(仮称)みやぎの将来ビジョン」を拝読しました。将来の宮城県を目指す姿とそれに対する取り組みが示されており、これらの取り組みが実現されたならば宮城県の将来に希望がもてると感じました。以下に私の感想を記します。</p> <p>インフラ整備 県民の豊かで安全安心の暮らしのためにはインフラ整備が不可欠だと思います。厳しい財政事情の中で新規事業や大規模プロジェクトは困難な状況にあると思いますが、インフラ整備は一朝一夕にはできるものではないので、継続に進めてもらいたいと思います。</p>
19	37	仙台市	40代	男	全般	全般	<p>宮城県の認識度 宮城県の認知度は全国的には低いものだと思います。「生まれてよかった、育ってよかった、住んでよかった」だけでなく、宮城県の良さを積極的にアピールし、全国的な知名度を上げていくことも大事だと思います。それによって、人、企業が流入し、しっかりとした経済基盤が築けるのではないのでしょうか。</p>
19	38	仙台市	40代	男	第1章 第2節	P4	<p>道州制への対応 宮城県の将来ビジョンが今後導入が検討されている道州制の中で有効なものになることを期待します。</p>
19	39	仙台市	40代	男	第1章 第2節	P4	<p>最後に 大変すばらしいビジョンだと感じました。具体的方法・施策については関係部署でブレークダウンして頂きたいと思いますが、県の財政は、乳幼児医療費助成等各種補助の見直しが行われるなど厳しいものであり、実現可能で県民に過剰な負担とならないものをお願いします。</p>
20	40	多賀城市	70代	男	第3章 取組10	P23	<p>(仮称)みやぎの将来ビジョンについて、意見を送付します。</p> <p>私は、商工会で活動している者ですが、最近では近隣に大手資本の大規模ショッピングセンターが出店してきた影響などから、地元の商店街は全く元気がありません。会員も高齢化してきていますが、跡取りもいないため、店を辞める人も多く、このままでは、ますます活気の無い、住みにくいまちになっていくと考えます。</p> <p>将来ビジョンの中では、地域商業の振興についても記載してはいますが、これまで以上に商店街の活性化策に取り組んでいただき、これからますます増加する高齢者の方が遠くに行かなくても身近なところで安心して生活できるような地域をつくってもらいたいと思います。</p>
21	41	仙台市			全般	全般	<p>・表題「みやぎの将来ビジョン」や本文で活用されている「みやぎ」という箇所について、漢字表記「宮城」とすることについて、ご検討いただければ幸いです。</p>

提出者番号	意見提出者				関連箇所		御意見・御提案の内容(全文)
	意見番号	住所	年代	性別	章・節	頁	
21	42	仙台市			第2章 第1節 第3章 取組5	P6  P18	・原文「観光立県としての体制整備を隣県などと連携しながら～」とあるが、取組5(P18)の記載では「東北各県と一体となって」とあることから、表現の整合性について、確認いただければと思います。
21	43	仙台市			第2章 第3節	P10	・原文「これまで集中的に整備してきた社会資本」という表現について、時間的なものか、場所的なものか不明。
21	44	仙台市			第3章 取組3	P16	・「マーケットイン」は本文にはないので削除。
21	45	仙台市			第3章 取組7	P20	・「食育」について、「1.富県みやぎの実現(3)地域経済を支える農林水産物の競争力強化」という観点だけでなく、「2.安心と活力に満ちた地域社会づくり(1)子どもを産み育てやすい環境づくり」や、「同(2)将来のみやぎを担う子どもの教育環境づくり」などにも位置づけられないか、ご検討願います。
21	46	仙台市			第3章 取組12	P25	・[その実現のために県として行う取組の方向]に「高速道路網及び広域ネットワークの形成に向けた道路網の整備推進」が位置づけられていますが、広域交通ネットワークの形成という観点から、次の項目の追加について、ご検討いただければと思います。 仙台港IC(インターチェンジ)の整備促進 仙台都市圏環状自動車専用道路の整備促進
21	47	仙台市			第3章 取組28	P43	・「Recycle(ごみを再利用する)」「Recycle(ごみを再生利用する)」とされてはどうか。
22	48	仙台市	30代	女	第3章 取組6	P19	将来ビジョン案を拝見いたしました。ぜひ実現させていただきたい項目がたくさんあり、これらの多くが、十年後に実現されていることを期待いたしております。その中に、いくつか加えていただければと感じる点がございませう。 一つは、農業に関するものです。将来ビジョンの取り組みの方向の中に、生産規模の拡大や集団化、アグリビジネス等の企業の経営等の促進というものがありますが、これに加えて、上記集団に入らなかつたり入れなかつた中・小規模の農家を活気づけるという視点からの将来ビジョンも組み込んでいただきたいと思います。国の政策としても、大規模化の方向にあることは承知いたしておりますが、だからこそ、そこに入り込まなかつたり入り込めない中・小規模の農家や中山間地の農家には、県がスポットをあてていくということも、宮城県としてのオリジナリティを發揮する一つの場面ではないでしょうか。農家の八割から九割は、中・小規模の農家だといひます。大規模化に参加しない農家も、たくさんいるとききます。これらの人達に、希望や活力を与える、または維持する手助けをし、大規模農家から小規模の農家まで多様な形態が活力をもって県内に存在することは、県民にとつても、さまざまなメリットがあると思われませう。少量多品目を十分に目の届く範囲で栽培する、こうした中・小規模の農家が多数いることで、多様な品目について、食の安心・安全を確保できる、伝統野菜といった少量しか栽培されないものも維持され、ひいては食文化の保存にもつながり、食育を推進する上でも有意義である、などです。多様な形態の農家を応援する政策に期待すると共に、公報、教育などを通して県産品の消費を、県外だけでなく、県内においても、より一層促すことで、宮城の農業全体の活力を底上げするような政策を期待しております。



提出番号	意見提出者				関連箇所		御意見・御提案の内容(全文)
	意見番号	住所	年代	性別	章・節	頁	
22	49	仙台市	30代	女	全般	全般	<p>二つ目は、県の行政に、色々な分野の仲人役・橋渡し役をしていただけたらと思います。例えば、日本人の野菜の消費量は、年々低下しており、一方で、生活習慣病の深刻化、医療費の増加などの問題も生じております。野菜を一日350g食べるよう、厚生省でも推奨しておりますが、うまく浸透していないように感じます。野菜を食べる健康になり、医療費の増加を食い止めようという、農業分野と医療分野、二つの分野にまたがるものの橋渡し役を県が主導で行なうというの必要かと思えます。これは、その他、様々な分野に対して言えると思えます。将来ビジョンの様々な項目をそれぞれに推進するだけでなく、別々の項目をつなぐような、例えば、医療分野、食育分野、農業分野をつないだり、といったなかなか民間ではコーディネートしにくい部分を、県の方で担っていただければ、また別の発展の道筋がつくのではないのでしょうか。</p>
22	50	仙台市	30代	女	第2章 第2節 第3章 取組13 取組14	P8  P27 P28	<p>最後に、育児支援策の充実を、切に希望いたします。都市部は、民間の保育園やベビーシッターも多く、利用しやすいかと思いますが、地方は、母親が働くとなると、まだまだ実家のおじいさん、おばあさんに頼る部分が多いとききます。また、公立の保育園や放課後クラブなども一ヶ所しかない場合が多く、親たちは、何か言いたいことがあっても、トラブルが生じると、他に預けるところがなくなるため、黙っていることも多いそうです。そのあたり、もう少し風通しを良くするようなアイデアも期待しております。また、看護師や准看護師の資格をもっている人の半分ほどが、家庭に入ってしまったといひます。育児支援を充実させることで、これらの人々の社会復帰を促すことで、医療福祉サービスの質の向上にもつながっていくことを期待しております。</p> <p>何かと難しい課題も多いかと思いますが、折りにふれ、県民の声も取り入れながら、希望あふれる将来ビジョンを実現できますよう、県民の一人として大いに期待いたしております。</p>
23	51	仙台市	30代	男	全般	全般	<p>・優先的・重点的に取り組むべき施策として将来ビジョンを作成すると思いますが、基本方向や33の取り組みなどを見ると網羅的なのでどの部分が特に重要視されているのかが分かりづらくなっているように感じました。10年という期間の中でどの項目にいくらの予算をつけ、どういった順番でやっていくのかなどを示した方がいいのかと思ひました。</p>
23	52	仙台市	30代	男	全般	全般	<p>・理念として「共創」という言葉が使われていますが、現時点で「共創」のための体制は十分ではないように感じています。実際にこのアンケート自体があまり周知されていないのではないのでしょうか。「共創」していくためには、この体制作りについても早急に整える必要があるため、取り組み項目として掲げるべきではないかと思ひました。また、「共創」とは具体的にどの程度の県民の意見を取り入れたと判断するつもりなのかなどの数値目標も明示した方がいいのかと思ひました。</p>